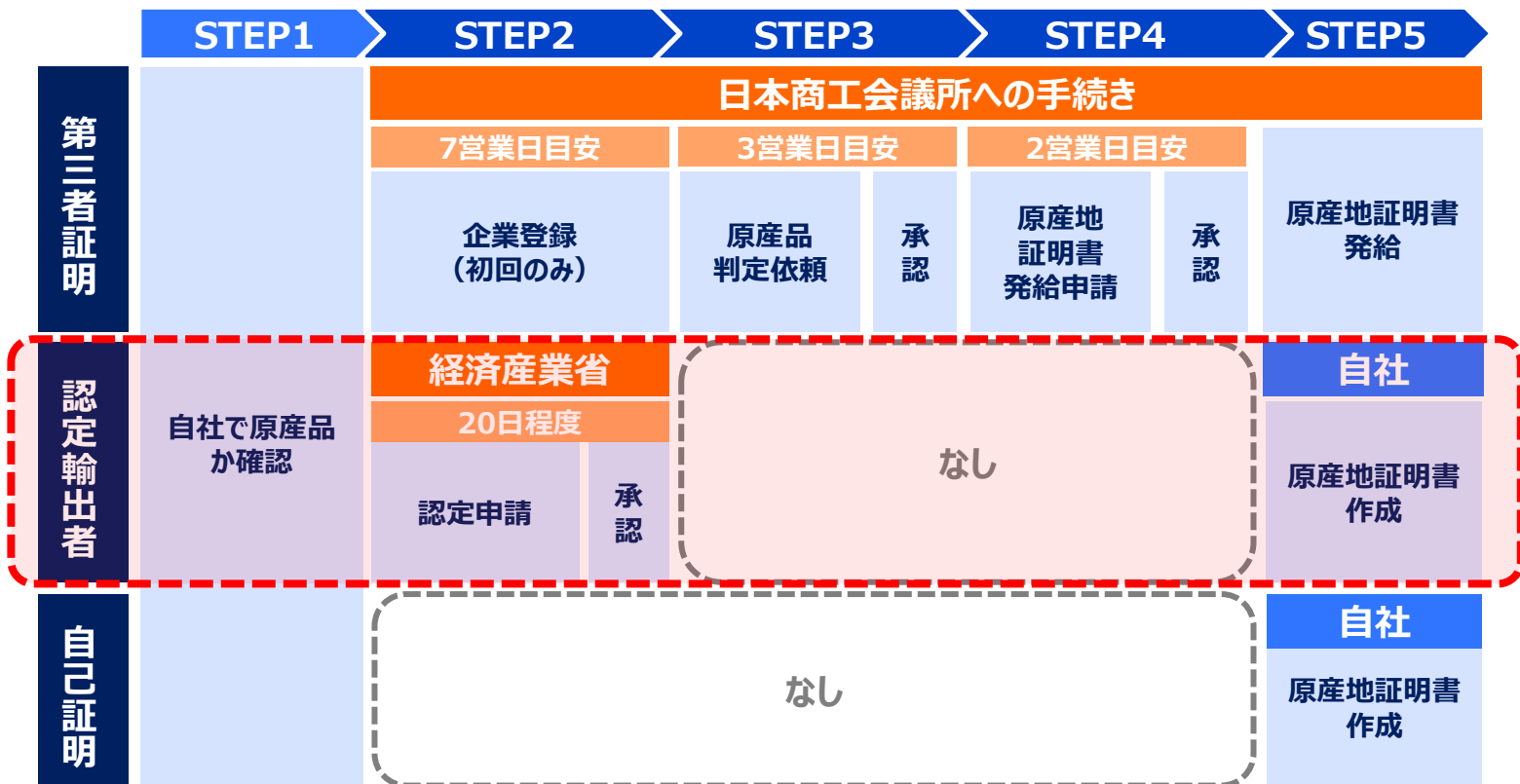


2. 認定輸出者制度の概要



認定輸出者証明制度とは



ポイント



認定輸出者証明制度とは、経済産業省より認定を受けることで自社にてEPAの原産地証明書を発行できる制度です。



各EPA毎の証明制度

二国間協定

締約国	採用されている証明制度			締約国	採用されている証明制度		
日シンガポール協定	第三者証明制度			日メキシコ協定	第三者証明制度		認定輸出者制度
日マレーシア協定	第三者証明制度			日ペルー協定	第三者証明制度		認定輸出者制度
日タイ協定	第三者証明制度			日チリ協定	第三者証明制度		
日フィリピン協定	第三者証明制度			日スイス協定	第三者証明制度		認定輸出者制度
日ベトナム協定	第三者証明制度			日EU協定		自己証明制度	
日インドネシア協定	第三者証明制度			日イギリス協定		自己証明制度	
日インド協定	第三者証明制度			日米協定		自己証明制度*1	
日モンゴル協定	第三者証明制度			日オーストラリア協定	第三者証明制度	自己証明制度	

*1 日米貿易協定は輸出者による自己証明は認められておらず、輸入者による申告のみ可能

多国間協定

締約国	採用されている証明制度		
日アセアン協定	第三者証明制度		
TPP11協定		自己証明制度	
RCEP協定	第三者証明制度	自己証明制度*2	認定輸出者制度

*2 2024年6月現在、RCEP協定において輸出者による自己証明は日本・オーストラリア・ニュージーランド間での輸出入のみ可能。輸入者による自己証明は日本への輸入のみ可能



証明制度を選択できるケース

複数の証明制度が採用されている協定では利用者により証明制度の選択が可能

例)

RCEP協定

第三者証明制度

自己証明制度*

認定輸出者制度

* 2024年6月現在、RCEP協定において輸出者による自己証明は日本・オーストラリア・ニュージーランド間での輸出入のみ可能。輸入者による自己証明は日本への輸入のみ可能

ポイント



それぞれの証明制度の特徴を理解した上で
選択する必要があります。



証明制度とは・・・原産地証明書の入手方法

原産品であることの確認方法

ここまでは証明制度にかかわらず確認方法は同じ

原産地証明書の入手方法

ここからが証明制度により異なる！
証明制度は3種類



EPAの
原産地証明書

ポイント

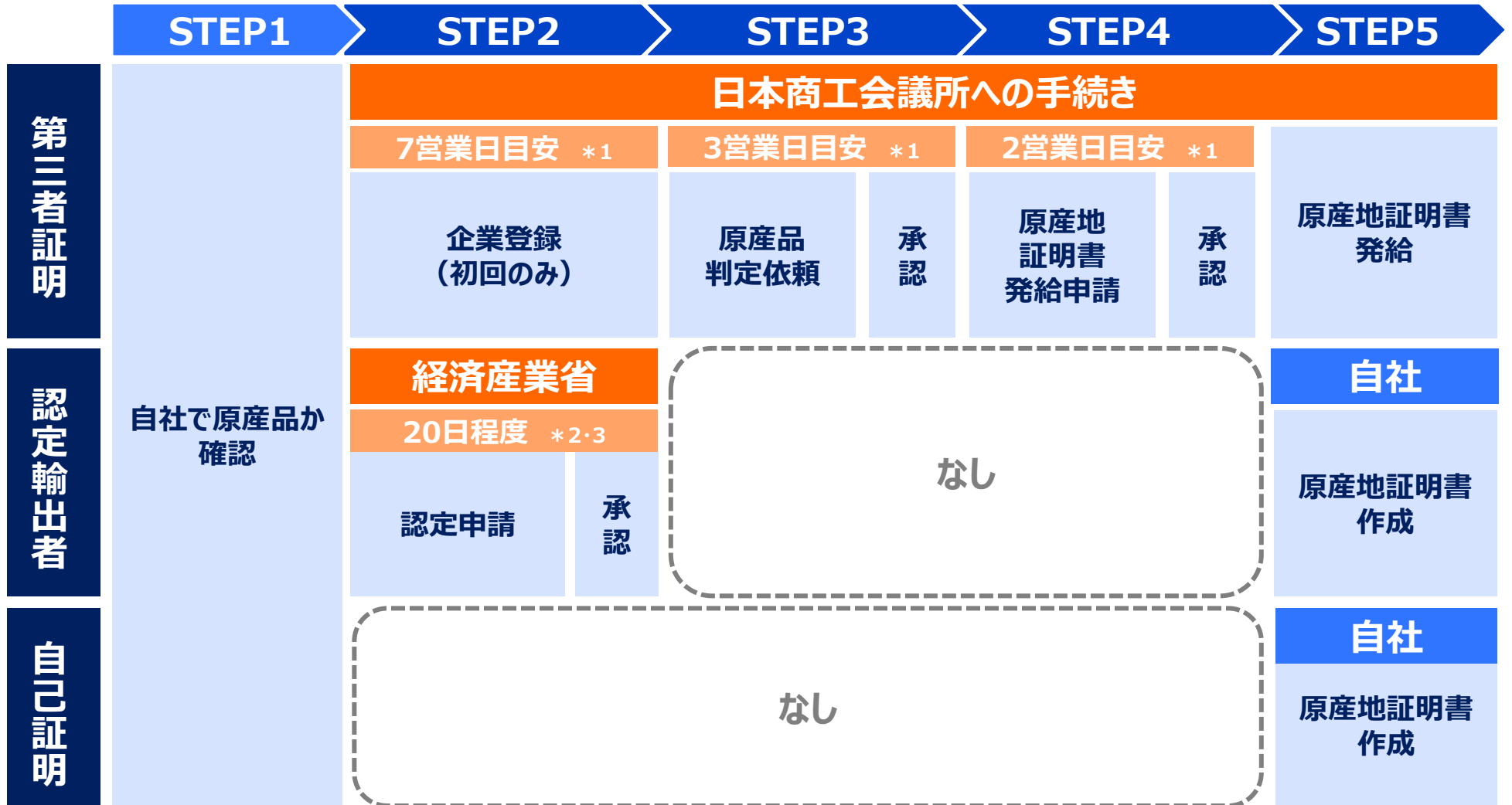


証明制度は利用する協定毎に規定されています。

※規定されていない証明制度は利用できない



3種類の証明制度の違い



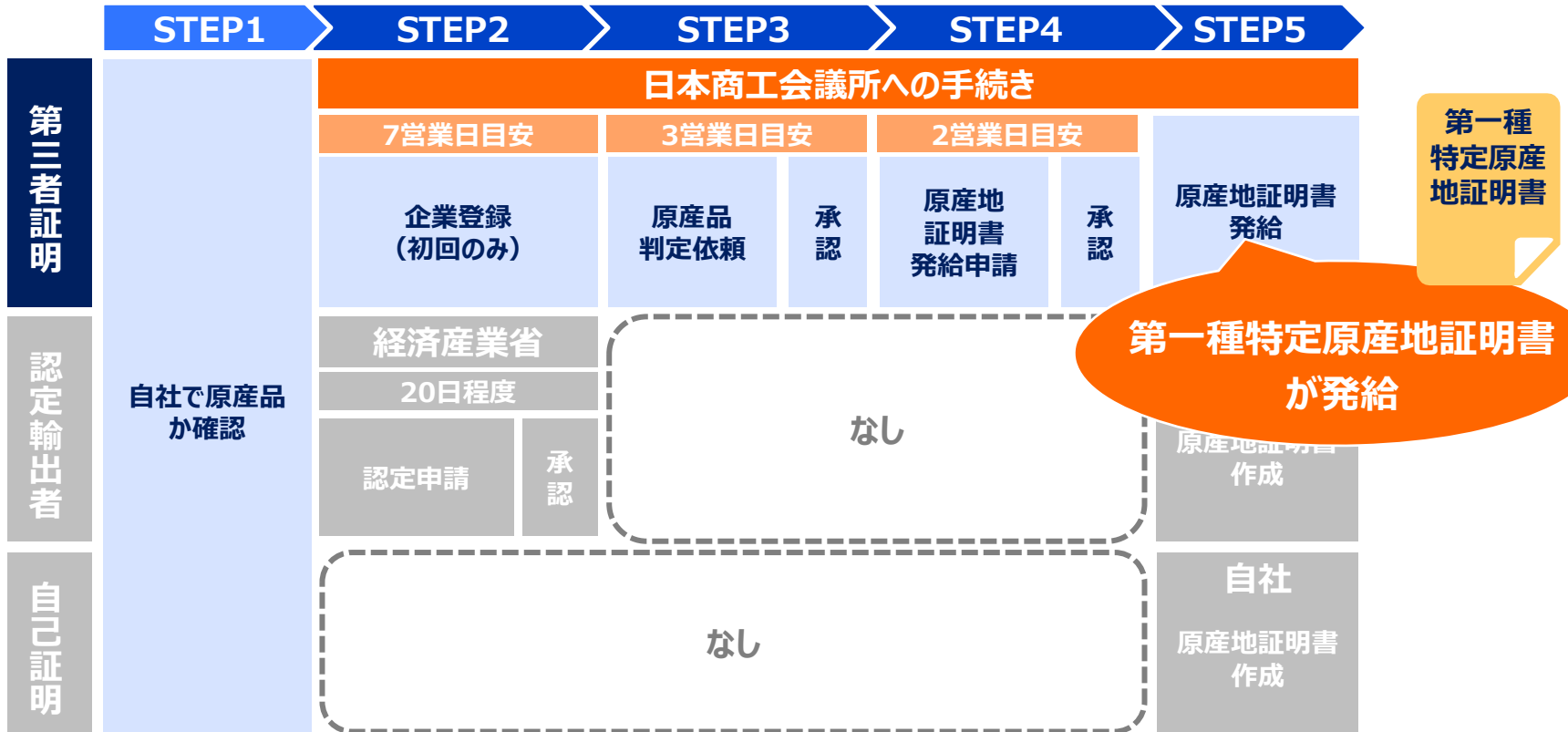
*1 出所：日本商工会議所パンフレット「あなたもできる第一種特定原産地証明書取得ガイド」

*2 出所：経済産業省HP「経済連携協定（EPA）に基づく認定輸出者自己証明制度申請・利用の手引き」

*3 認定申請にかかる書類準備時間、ドラフト調整の時間は含まれない



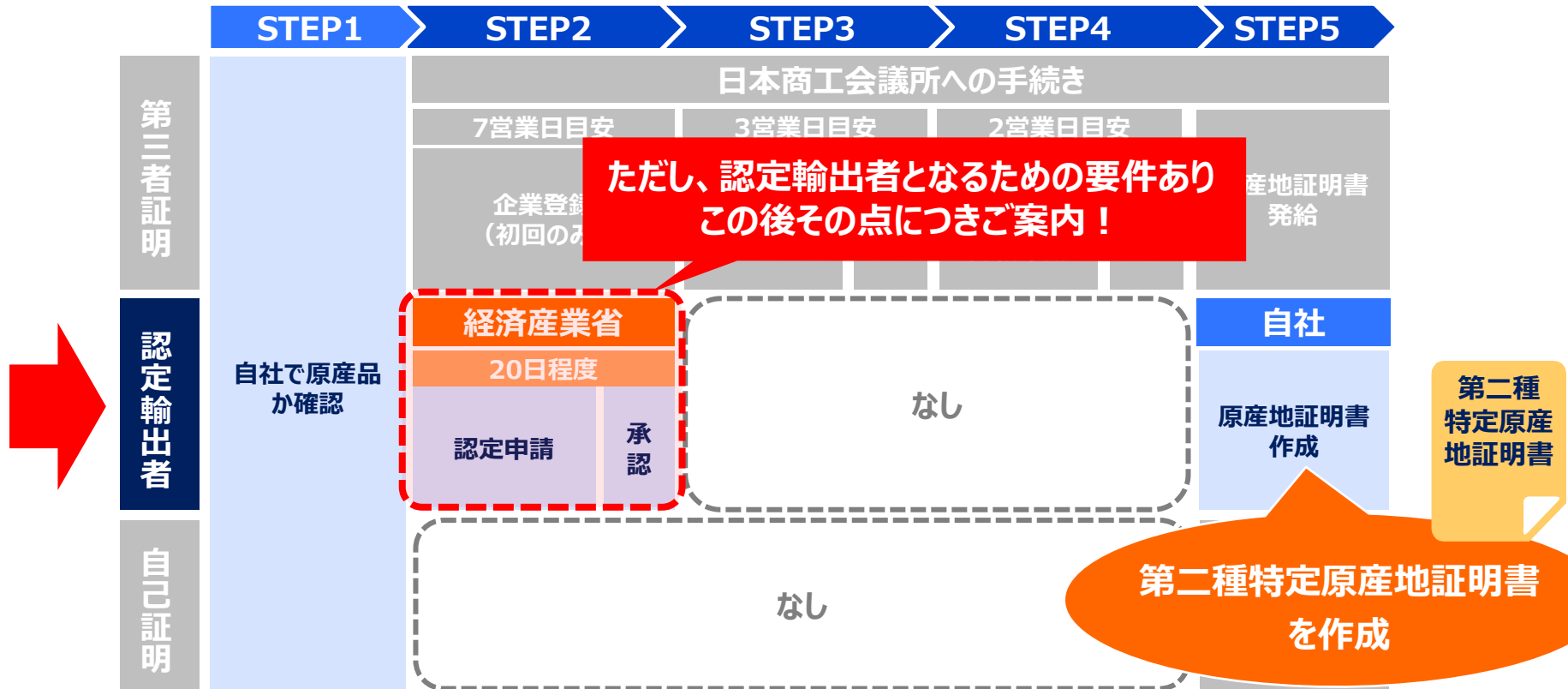
認定輸出者証明制度のメリット -リードタイム-



第三者証明制度では、日本商工会議所への手続きが必要です！
審査に要する時間も踏まえて、手続きを行うことが求められます。



認定輸出者証明制度のメリット -リードタイム-



ポイント





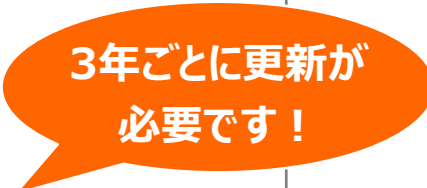
認定取得後は日本商工会議所を介すことなく、自社にて原産地証明書が発行可能となります。認定輸出者が作成する原産地証明書は**第二種特定原産地証明書**といいます。



認定輸出者証明制度のメリット -コスト-

例えば...



第三者証明制度と比べて、
どの位、原産地証明書取得にかかる費用を削減できる？

第三者証明制度	認定輸出者制度
<p>※原産地証明書1件の発給に対して</p> <p>■ 1件2,000円+ (500円×製品数*) *インボイスに記載の製品数</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 産品A (20回まで) 500円 産品B (20回まで) 500円 産品C (20回まで) 500円 </div> <div style="text-align: center;"> <p>2,000円</p>  </div> </div> <p>■ 同一製品の判定結果の使用回数が 20回を超えた場合、それ以降 (21回目から) : 50円</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 産品A (21回目から) 50円 産品B (21回目から) 50円 産品C (21回目から) 50円 </div> <div style="text-align: center;"> <p>2,000円</p>  </div> </div>	<p>■ 登録免許税法に基づく登録免許税 : 90,000円 (初回のみ)</p> <p>■ 認定更新の際にかかる費用 ※認定の有効期間 3年 : 5,000円 (電子申請の場合は4,550円)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

事例 ①

原産地証明書1年に40件

(1件に同一の1産品を掲載していった場合)

第三者証明制度	認定輸出者制度
<p>① $2,000円 + 500円 \times 1産品 = 2,500円/1件$ $2,500円 \times 20回 = \mathbf{50,000円}$</p> <p>② $2,000円 + 50円 \times 1産品 = 2,050円/1件$ $2,050円 \times 20回 = \mathbf{41,000円}$</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>2,000円</p>  <p>×20</p> </div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="text-align: center;"> <p>2,000円</p>  <p>×20</p> </div> </div>	<p>原産地証明書を取得するための費用は発生しない</p> <div style="text-align: center; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.5em;"> 原産地証明書 取得費用 </div>
<p>合計 ① $\mathbf{50,000円} +$ ② $\mathbf{41,000円}$ $= \mathbf{91,000円}$</p> <div style="font-size: 4em; color: orange; text-align: center;">></div>	<p>登録免許税法に基づく登録免許税 : $\mathbf{90,000円}$</p>

事例 ②

原産地証明書毎月2件 (1件に同一の1産品を掲載していった場合) ×3年

第三者証明制度	認定輸出者制度
<p>① $2,000円 + 500円 \times 1 = 2,500円/1件$ $2,500円 \times 20回 = 50,000円$</p> <p>② $2,000円 + 50円 \times 1 = 2,050円/1件$ $2,050円 \times 52回 = 106,600円$</p> <p>2,000円 </p>	
<p>合計 ① 50,000円 + ② 106,600円 = 156,600円</p>	<p>登録免許税法に基づく登録免許税 : 90,000円 (初回のみ)</p>

ポイント



**まずは第三者証明制度を利用した場合
 の費用を確認しましょう！**